

意見交換会実施報告書

意見交換会実施報告書		
日 時	令和7年5月24日 10時15分から12時00分まで	
会 場	市役所本庁舎6階 全員協議会室	
出席議員	早川副議長、岡崎広報広聴委員会委員長、吉川副委員長、 豊嶋議員、花田議員、金田議員、金子議員、藤村議員、清野議員 新倉議員、菊池議員、滝口議員、山崎議員、長谷川議員、加藤議員	
参加人数	10名	
経過記録	開 会	10時 15分
	議 長 挨 拶	10時 15分～ 10時 18分
	進 行 説 明	10時 18分～ 10時 21分
	自 己 紹 介	10時 21分～ 10時 26分
	意 見 交 換	10時 26分～ 10時 51分
	席 替 え	10時 51分～ 10時 56分
	意 見 交 換	10時 56分～ 11時 21分
	発 表	11時 21分～ 11時 36分
	参 加 者 感 想	11時 36分～ 11時 51分
	総 括	11時 51分～ 11時 56分
	アンケート記入	11時 56分～ 12時 00分
	閉 会	12時 00分
テ ー マ	【あなたのご意見をお聞かせください】	
概 要	・ 第1回の参加者は13名の予定だったが、うち3名が当日欠席となった。	
	・ 見学者が1名。テーブルBにつき意見交換の様子を見学された。	
	・ 第1回の参加者は、30歳代から80歳代の年齢層で平均年齢57歳であった。	
	・ テーブルごとのテーマ設定はなかったが、前半及び後半ともに参加者が分散	
	して着席し、各テーブルで闊達な意見交換が行われた。	
主な意見	別紙1から5のとおり	
令和7年7月7日 茅ヶ崎市議会議長 岸 正明 様 上記報告書のとおり開催しましたので報告します。 広報広聴委員会委員長 岡崎 進		

意見交換会における主な意見 (別紙1)	
日 時	令和7年5月24日 10時15分から12時00分
担 当	Aグループ 進行：豊島太一 書記：長谷川由美
主な意見	自由記述
	【参加された市民】2名 うち1名は聴覚障害者で要約筆記者2名とともに参加。要約筆記者は、3台のパソコンを持ち込み、1台をモニター、2台で入力を行い要約筆記を行った。 【ご意見①】文教大学に字幕科を作って欲しい。邦画は字幕がついておらず、聴覚障害者が楽しむことができない。市にも要望してきたが、回答はない。 →市が大学に学科を作って欲しいというのは難しい→すぐに不可能とせずに調べて欲しい。門前払いというかすぐに不可能とする体質が市にあるように感じる。 【ご意見②】議長選挙で演説がなかった。これだとどのようなことを目指すのかわからない。演説をすべき。 【ご意見③】アロハトークで出した意見はどうなるのか？ガス抜きにして欲しくない。自分の権利について知らないと活動できないので、憲法を勉強。 【ご意見④】不登校等に予算をつけてほしい。 【ご意見⑤】個々の議員のことを知りたい。ゆっくり話をしたことがない議員のテーブルを選んだ。議員になったきっかけや達成できたことを話してほしい。 →豊島議員が話したところで、時間切れとなった。 【ご意見⑥】映画監督小津安二郎記念館を作り、輪タクを復活させることで茅ヶ崎を世界に向けてアピールすることができると思う。市として取り組んでほしい。輪タクが復活できたら、自分がドライバー第一号になっても良い。→輪タクの復活は面白い。→輪タクを知らない（画像を見るなどした） →小津安二郎記念館を常設とするのは、飽きられてしまうと思う。それよりも、小津監督を研究したゆかりの人物館市民研究員のような活動や、その成果が逐次更新されるような、活動ある展示などが良いと思う。→それは良いと思う。 →小津安二郎はあまり好きではない。他にも縁ある文化人がたくさんあるので取り上げるのがいい。川上音二郎、貞奴なんかすごい。 →九代目市川團十郎も茅ヶ崎にゆかりが深い。小津監督も若い頃に九代目團十郎を撮っている。 【ご意見⑦】調べたところ、市議会の本会議場に字幕が設置されたのは、神奈川県内では、茅ヶ崎市議会が2番目。1番は開成町で、3番目に南足柄市が始めたとのこと。良い取り組みなので続けてほしい→続けて欲しいと思う。

意見交換会における主な意見

(別紙2)

日 時	令和7年5月24日 10時15分から12時00分
担 当	Bグループ 進行：金子 遥 書記：清野 匡志
主な意見	自由記述
	【文化継承】 小津安二郎 ゆかりの人物館 輪タク博物館で町おこし ベロタクシーの復活 市の発信が上手くない 岡崎市と同じくジャズ、音楽を発信する。
	【保育士の人で不足】 処遇改善 賃金はどうやって上がるの 福利厚生 オフィスグリコ、休憩時のお茶菓子 支援が必要なお子さんの増加 延長業務 発達障害児支援 保育士相談窓口が欲しい どうやって足を運んでもらうのか？イベント？
	【0～3歳十を育てる子育て世代へのサポート】 土日のサポートが欲しい 精神的な負担へのサポート 金銭的なサポートが少ない
	【商工費が10年前と変わっていない】 柳島スポーツセンターへのバス路線拡充
	【市外からの移住者が孤立していないか】 人脈づくりをどうするか 県人会
	【茅ヶ崎の良いところ】 イオンが二つある。入りやすい。 すごく栄えていないがどこへも行きやすい お気に入りの店がある お店探しが楽しい 人が優しい。フレンドリー。

意見交換会における主な意見

(別紙3)

日 時	令和7年5月24日 10時15分から12時00分
担 当	Cグループ 進行：花田慎 書記：藤村優佳理
主な意見	自由記述
	【前半】 ①アロハトークについて ・ワールドカフェ方式も良いが以前の意見交換会の良さもあるので継続してほしい ・議員の意見を聞きたい ・中学生以上が対象となっているが18歳以下の子どもの参加も積極的に広報してほしい ・カフェ方式ということだがお茶もでない →藤沢市議会でのワールドカフェではお茶が出ている ・アロハシャツの着用はカラフルで茅ヶ崎ならではの →議員や職員は5月から10月末まで着用する。 ②市や市議会の行事について ・情報発信が足りず市民には届いていない →市に興味のある人はSNSや広報紙などから情報を得ていると思う。 ③不登校について ・学ぶ権利が保障されていない→「権利」に触れる話になると関心が低くなる。 ・不登校で悩んでいる子が多い→学童や子ども食堂と連携を取って利用できないか →不登校は他人事でなはいと思う。 ④姉妹都市について ・ハワイだけではなく国内の姉妹都市も検討してほしい→ゆかりのまち、防災協定など国内での協力関係のある自治体はある。 ⑤乳がん検診について ・受診率が低い→がんサバイバーとして市民の方へ活動したい→前期の環境厚生常任委員会の政策提言で取り組んだ→ピンクリボンライトアップも市の施設などランドマーク的な場所で実施してほしい→市役所中庭やCのモニュメントなどでもライトアップは行っている ⑥議員の取組について ・もっと積極的に発信してほしい ・地域の困りごとやインフラ整備などに対応している ・新人や若手議員を育てている ・世代交代を求められていて、風の入替えは必要だと思う→議会の底上げをしてほしい。 ⑦議員の取組について ・議員は行政の担当者へ繋げることができる。

意見交換会における主な意見 (別紙4)	
日 時	令和7年5月24日 10時15分から12時00分
担 当	Dグループ 進行：滝口友美 書記：新倉真二
主な意見	自由記述
	テーマ「議員と話そう、茅ヶ崎のこと!!」 まとまった話は少なかったが、以下に出てきた主な意見を分野ごとにまとめる。 ・茅ヶ崎市の気候はいい（雪がない） ・駅の前のガヤガヤしないところが良かった ・住むまでは知らなかった茅ヶ崎 ・道の駅の問題（駐車無料について） ・夏のサーフィン客の駐車問題と交通渋滞 ・ゆかりの人物館を盛んにしたい →山田耕筰、開高健の朝ドラ、大河ドラマ化 ・将来的に民間保育支援金、学童保育→商工費へ ・茅ヶ崎市では昭和25年に愛市公債を発行している →現在それを行うことはできないか？ ・指定ごみ袋をもっと使いやすい容量にできないか？ ・ごみ通信をなぜ休止したのか？ ・ごみ有料化の理由を知らない ・ごみ有料化の効果（ダイエット作戦）実施例として海老名市、藤沢市などがある 【長野県の政策】 ・人口規模にふさわしい社会システムの構築（人口減少、経済） ・就労支援（市民、県民など） ・産業や暮らしのデジタル化やロボット化（人口減少、人材確保） ・外国人が暮らしやすく働きやすい環境整備 ・若い世代の所得引き上げ（少子化対策） ・若者の出会いと結婚の応援 【茅ヶ崎市に必要な政策】 ・出産子育て支援の強化 ・個別最適な学びの提供 ・民泊の推進 ・ベロタクシーの運転手確保 ・ホノルル？地元商店街振興？ ・ウクレレ教室、サーフィン教室、スケボー教室 ・アロハとウクレレとフラダンス文化の街の実現

意見交換会における主な意見 (別紙5)	
日 時	令和7年5月24日 10時15分から12時00分
担 当	Eグループ 進行：金田俊信 書記：菊池雅介
主な意見	自由記述
	【前半】 ①人口減少社会（少子高齢化）について。 ・人手不足の解消。 ・公共交通機関の維持存続。 ②空き家対策 ・オープンカフェなどへの活用。 ・レンタルスペースとして市民活動などに貸し出せないか。 ③公道的に利用されている私道の管理問題（下水道管など） ④茅ヶ崎の子育て支援策は藤沢に比べて見劣りする。 ⑤津波対策を考えると海岸近くの小中学校を避難所指定は見直しが必要。 ⑥家庭ごみの有料化はごみ減量化に効果があった。 ⑦中学校給食の献立にアレルギーとカロリーを表示して欲しい。 ⑧浜降祭は守りたい文化、自治会や街から協議会をカナメに。 【後半】 ①以前の対面式の意見交換会の方が良かった。 ②アロハトークへの若年層の参加を図って欲しい。 ③ゴミ収集について ・指定ゴミ袋は値下げして、15Lや30Lのサイズを追加して。 ・集積所の管理について対応が必要。 ・有料化したごみ収集の収支報告をこまめに出して欲しい。 ④寒川町との連携をもっと深めて欲しい。 ⑤北陵高校移転問題の早期解決を。 ⑥道の駅の駐車場問題が心配。 ⑦萩園上ノ前地区への企業誘致を。働く場を作ることが移住促進に有効。農業振興も。 ⑧旧学校給食調理場跡地の有効活用を。移転後の保健所跡地もあわせて。

意見交換会実施報告書

日 時	令和 7 年 5 月 2 4 日 1 4 時 0 0 分 から 1 5 時 4 5 分 まで	
会 場	市役所本庁舎 6 階 全 員 協 議 会 室	
出席議員	岸議長、早川副議長、岡崎広報広聴委員会委員長、吉川副委員長、 杉本議員、山口議員、金田議員、今井議員、水本議員、 藤本議員、木山議員、阿部議員、伊藤議員、桎木議員、	
参加人数	1 1 名	
経過記録	開 会	14時 00分
	議 長 挨 拶	14時 00分～ 14時 03分
	進 行 説 明	14時 03分～ 14時 06分
	自 己 紹 介	14時 06分～ 14時 11分
	意 見 交 換	14時 11分～ 14時 36分
	席 替 え	14時 36分～ 14時 41分
	意 見 交 換	14時 41分～ 15時 06分
	発 表	15時 06分～ 15時 21分
	参 加 者 感 想	15時 21分～ 15時 36分
	総 括	15時 36分～ 15時 41分
	アンケート記入	15時 41分～ 15時 45分
	閉 会	15時 45分
テ ー マ	【あなたのご意見をお聞かせください】	
概 要	・ 第2回の参加者は13名の予定だったが、うち5名が当日欠席となった。	
	・ 第1回における見学者1名が、第2回には参加者としてテーブルにつくことを希望した。当日参加者1名、見学希望者1名。第2回の見学希望者もテーブルDにつき、様子を見学しながら議員及び参加者とともに意見交換を楽しんでいた。	
	・ 第2回の参加者も、30歳代から80歳代の年齢層で平均年齢57歳であった。	
主な意見	別紙 6 から 1 0 のとおり	
令和7年7月7日 茅ヶ崎市議会議長 岸 正明 様 上記報告書のとおり開催しましたので報告します。 広報広聴委員会委員長 岡崎 進		

意見交換会における主な意見

(別紙6)

日 時	令和7年5月24日 14時00分から15時45分
担 当	Aグループ 進行：水本定弘 書記：金田俊信
主な意見	自由記述
	参加人数 3名
	【①Aさん 自己紹介兼茅ヶ崎のこと】 トークの例で介護、障がい、福祉があったのでその中の障がいについて非常に興味があり話す。私の父親（教員だった）は「手をつなぐ親の会」と「作業所」を運営していた。障がい者を受け入れ作業所で訓練し社会の人たちとともに生活をしていく。最初は内山彦太郎（氏）や岡本はなこさん、さかまきさん他と運営をしていて、私はそんな中で育ってきた。私にはそのような知恵はなかったが音楽をやっていて障がい者の人たちと「赤とんぼの会」ができたらいいいと考えた。その信念のもと現在に至る。また、その意思をともに活動をしている方が〇〇さんです。サポートセンターができて23年経つが同時に「赤とんぼの会」もできている。昔、山は「里場（さとば）」、海は「里海（さとうみ）」と言っていた。その両方がある素敵な茅ヶ崎を残していきたい。そして、もちろん「街路所もなくてはいけない」が素敵な茅ヶ崎を次世代に残していきたい。
	【②Bさん J Cに在籍していた】 Aさんの活動をお手伝いすることでこれが市民活動だということに気づいた。山田耕作が茅ヶ崎で「赤とんぼ」を作ったことをもっと広め、愛郷心を育てていきたい。夕方の4時半、5時にはこの曲がながれ、子どもたちは家に帰ったものだ、加山（雄三）さんもいいけど、夕方に加山さんの曲が流れても子どもたちは帰らない。山田耕作生誕140年を記念し件コンサートを行う。 【③Cさん 自己紹介と茅ヶ崎のこと】 介護関係の仕事をしていたが、自身で介護福祉関係の仕事を開業する。茅ヶ崎のことをたくさん知りたいので参加した。また、小学校で認知症の啓蒙活動と多様な分野とのコラボが必要と考える。茅ヶ崎市は介護現場の実情にフィットしたフォローをしてほしい。

意見交換会における主な意見

(別紙7)

日 時	令和7年5月24日 14時00分から15時45分
担 当	Bグループ 進行：今井理華 書記：伊藤素明
主な意見	自由記述
	●茅ヶ崎は自転車のまちにふさわしく走行レーンなど環境整備に取り組むべき。 ●自転車事故防止に向け自転車ヘルメットの購入時への補助はできないか。 ●読売新聞に掲載されていた記事で学校内での相談事や悩みなど生徒側から先生を選べる「メンター制度」の導入は検討できないか。 ●スポーツアンバサダーやスポーツアスリートへ遠征費などの金銭的補助をすべきでは。 ●他の自治体と差別化を図るため、特徴あるキャッチフレーズを発信し、特徴ある取り組みを進めたらどうか。（例えば電話対応日本一！や上機嫌日本一など） ●市役所で多岐にわたり手続きをする際、色々な窓口へ行かなければならないため、一か所で済ませられないか。（ワンストップ窓口） ●山田耕作の「赤とんぼ」を茅ヶ崎の誇りとし、市内全域へ広める活動を推進して欲しい。夕方チャイムで一時、加山雄三の曲のメロディに変わった際、子どもが帰宅しなかったことがあった。 ●教員の働き方改革の一環としても、水泳の授業を民間委託する取り組みは良いことだと思う。 ●茅ヶ崎小学校ではいまだに教師による性被害が起こっているのはなぜか。私も昔教師から被害を受けた思い出がある。 ●教員の研修を強化すべきではないか。 ●教員の質の向上を目指すなかで、魅力ある教員像を創り出し、教師を目指す児童、生徒を増やす取り組みを推進する必要があるのではないか。

意見交換会における主な意見

(別紙8)

日 時 令和7年5月24日 14時00分から15時45分

担 当 Cループ 進行：藤本恵祐 書記：木山耕治

自由記述

【インフラ整備】

■道路狭隘による渋滞を解消して欲しい。

→他市は街の区画整理が進んでいる

■下水道設備の点検、保全・整備の強化を図るべき。

→八潮市の事故例を参考に

【災害対策】

■災害発生時の避難所は滞在3日を目安とし、仮設住宅以外に多様な施設に速やかに移れるよう準備すべき。

→特に高齢者、子ども、妊婦など

→道の駅に温泉施設を併設し、災害時の入浴サービスを提供する

■消防機能の強化を図るべき。

【公共施設】

■道の駅の有効活用を目指して欲しい。

→開設メリットが市民に還元されるような運営を

→周辺施設との連携促進（柳島キャンプ場など）

■うみかぜテラスの活性化を図るべき。

→旧福祉会館と青少年会館の統合施設だが、その役割をより明確に

→単なる貸館ではなく、多世代交流が自然に発生するような拠点に

【子育て・教育】

■不登校児童・生徒への柔軟な対応が必要。

→子は親の鏡であり、親は自分ごととして捉える

→子どものSOSは大人への宿題

→立ち止まってゆっくり話せる環境が重要

→今の教育は最短距離で社会に出ることを前提（団体バスツアーのよう）

→子どもの問題を継続して話せるテーブルが必要

→不登校になるとその先の見通しが立たない

→子どもたちに合った自立の道を用意

→子育てに正解は無い（親の思い通りにはならない）

■ファミリーサポートセンターの運営改善が必要。

→利用手続きが煩雑

主な意見

■子育て支援センターの運営改善が必要。

→委託事業者変更で運営時間が変更となり、スタッフの負担が増大

【市民と議会】

■議会は多様な人材構成であるべき

→子育て世代や女性が議員になりやすい仕組みづくりが必要

■市民と議員の近い関係づくりが重要

【その他】

→茅ヶ崎は都会でもない、田舎でもない不思議なまちの印象

意見交換会における主な意見

(別紙9)

日 時	令和7年5月24日 14時00分から15時45分
担 当	Dグループ 進行：山口順平 書記：阿部英光
主な意見	自由記述
	■文化・教育関連 ・学校生活に向上について →不登校／発達支援などさらに充実してほしい →ふれあい補助員 →児童・生徒も大変だが親や先生も大変な時代である 先生も親も頑張りすぎなくても良いという雰囲気を伝えてほしい →多言語対応などのサポートが必要では？ 多言語翻訳機など入れて対応しているのは初めて知った。 ・文化活動など →市外から移住した方から市民活動が活発な印象を受けた 良いことだと思います。 →赤とんぼの歌ができて100周年もっと啓発すべき ・地域活動 →自治会などなりて不足が心配である。何らかの支援が必要では？ ■自転車の交通安全/マナー向上について ・市内の交通安全について →自転車にやさしいまち、歩行者にやさしいまちを目指すために全世代への交通安全指導が必要。通勤・通学時間帯のマナー違反の自転車が多い →自転車のヴェロフェスティバルが令和7年で終了となったのは残念である。 交通安全普及啓発の活動が減るのは問題である。 ■インフラ関連 →歩道がレンガ調になっている所は本来保守性の向上が目的なはずだが、 アスファルトで埋めているところがあり意味がないのでは？ ■観光／住みやすさ ・観光客の増加について江の島や鎌倉に比べて観光客が少ないのでは？ →ローカルな雰囲気が良い

意見交換会における主な意見 (別紙10)	
日 時	令和7年5月24日 14時00分から15時45分
担 当	Eグループ 進行：榎木太郎 書記：杉本啓子
主な意見	自由記述
	主な意見 【子どもも大変なんだけど、大人も大変】 ・子どもだけでなく、大人も生きづらさを感じているのでは？ 【子ども大人も問題を抱えている】 (学校関係) ・不登校の子どもが普通教育を受けられるようにしてほしい。 でも、先生の業務量が多すぎて先生の余裕がない。 資質ある人を育てるシステムがあるのかどうか。 →子どもが悩みを抱えて相談したい時に、相談したい先生を生徒が選べるシステムがある。 「お金をかけなくても取り入れられるのでは？」 例えばいじめの問題を生徒が先生に相談したくても、いじめ問題を本質的に分かってない先生、いじめを察知することに敏感でない先生もいるかもしれないので、生徒の方でこの先生なら助けてくれるんじゃないか、と思える先生を選べるシステム。 →1つのいじめを解決する方法ではないか。適材適所で解決するシステム。 →適材適所的一方で、全体的なレベルアップも必要、という意見もあった。 【多様性（ジェンダーレス）について】 ・船の練習生を指導して、世界中を回っている方からの話。 練習生の中にLGBTの方がいて、船上生活ではカミングアウトが必要になり、カミングアウトしたところ、若い世代はすんなり受け入れていた。